

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3890300035
法人名	社会福祉法人 正和会
事業所名	九島グループホームやすらぎ
所在地	〒798-0098 愛媛県宇和島市蛤95番地3
自己評価作成日	平成21年8月17日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年9月7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

グループホームやすらぎは、宇和島から目と鼻の先にある九島という漁業とみかん、レモン、キウイ等の柑橘類の栽培が盛んな離島にあります。当施設はみかん畑と海に囲まれたのどかな風景の中にあり、天気の良い日は正面に美しい朝日を望むことができます。島にいると時間がゆっくり流れ、穏やかな気持ちになります。そして、島の人は温かく、ホームのことを気にかけてくれます。ホームの特徴としては、入居者だけでなく職員も島の方がほとんどで、昔からの馴染みの関係ができていくということです。また、高齢化が進む島にある唯一の高齢者施設ということで、地域の期待も大きいと感じています。「笑顔と真心でやすらぎを」という基本理念のもとで、いつも利用者と職員の笑顔が絶えない、地域からも愛されるやすらぎの空間を創っていきたくと考えています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

島中をドライブの時には、利用者がガイドをしてくれたり、お若いころの思い出等を話して下さることもある。学習療法をされることもあり、利用者からの発言を留め、思いや意向の把握に努めておられる。島には市の機関がないため、地元の方から介護サービスについての相談を受けた場合には、市の担当課や地域包括支援センターに連絡をつなげておられる。職員は、「失敗があっても安易に紙パンツをすすめるのではなく、様子をみながらその方が納得できるまで見守ってほしい」と話し合っておられ、声かけや対応で「足が立つ間はお自分でトイレに行けるよう支援する」ことに努めておられる。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームやすらぎ

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名

舟田 達也

評価完了日

平成21年 8月 17日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 法人の理念に基づいてグループホームやすらぎ独自の介護目標を作成している。	
			(外部評価) 「笑顔と真心とやすらぎを」という法人理念のもと、「職員の笑顔が利用者の笑顔につながる」と考え、日々取り組んでおられる。又、理念に基づき事業所の介護目標を作成し、「地域に開かれた施設」を目指しておられる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 事業所として自治会に加入し、自治会との連携に努めている。また地域の幼稚園、ご近所との交流を行い、できる限り地域活動への参加に努めている。	
			(外部評価) 事業所の前の道路は、地域の方の散歩コースでもあり、声をかけてくださったり、テラスで一休みされる方もあり、利用者は地域の方のおしゃべりを楽しみにされている。七夕には民生委員の方が笹を切って来てくださり、みんなで飾り付けをされた。又、地域の方が介護保険や介護サービス利用の相談に来られることもある。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 電話や訪問による相談にその都度応じている。介護教室等の開催は行えていない。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>2ヶ月に1回の運営推進会議で、事業所の取り組みや入 居者の生活状況を地域の方々に報告する機会が持て ている。地域からの事業所に対するご意見等を聞いたり、事業所からも地域の方に協力をお願いしたりして サービスの向上に活かしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議で、ご家族から「畑に野菜を植えてはど うか」という提案があり、早速近所の方や民生委員に 手伝ってもらいながら夏野菜を植えられた。これまで 畑仕事をしてきた利用者の方が水遣りや手入れを手 伝ってくださり、収穫もされた。2ヶ月に1回の会議当 日には、船で島外からの出席者を送迎されている。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>市と圏内のグループホームが共同でグループホーム連 絡会を立ち上げており、定期的な交流の機会を持っ ている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>島には市の機関がないため、地元の方から介護サー ビスについての相談を受けた場合には、市の担当課や地 域包括支援センターに連絡をしてつなげておられる。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正しく 理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>身体拘束禁止についての研修も受けており、意識付け できている。また、日中は玄関の鍵はかけていない。</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員は、身体拘束について法人で研修を受け、接遇に ついては職員間でよく話し合っておられる。身体拘束 をしなくても済むよう、「転倒しないように脚力を鍛 える等、未然に防ぐことが大切」と管理者は話してお られた。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 法人全体として高齢者虐待防止に関する研修の機会を持っている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 職員全体として、知識も低く、もっと意識を高める必要がある。研修等で学ぶ機会は設けている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約前に、本人及び家族と十分に話し合いを持ち、説明を行い、納得の上で契約を行なっている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族の面会時、家族宅への訪問時、手紙等で入居者の暮らしぶりを伝え、入居者、家族からの意見等を伺い、運営推進会議に報告し、意見を求めるようにしている。 (外部評価) 「急変時はどうなるのか」とご家族からよく聞かれるようである。事業所では、入居時に緊急時の対応について説明をされているが、「説明不足かもしれない」と考えておられ、今後もお話をする機会を持ちたいと話しておられた。。事業所の食事について「新鮮な食材が食べさせたい」というご家族の意見や、ご本人からは「料理を作りたい」という希望が聞かれ、事業所の畑で収穫した野菜を調理されたり、時々おやつを手作りすることから始めているところである。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			定期的な会議を開催し職員の意見を聞く場を設けている。	
			(外部評価)	
			毎月の職員会や毎日の申し送り時に、職員は意見や提案を出し合うようにされている。職員の提案から布団干しを男性職員で作ることになったり、又、テラスにテーブルを置いてはどうかという案が検討されている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			有資格者に対する処遇の改善を図り、職場環境・条件の整備に努めている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			研修への参加の機会をできるだけ多く持つと共に、自己啓発につながる支援を行っている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			圏内のグループホーム連絡会、県のグループホーム協会を通じて、他事業所との交流の機会を設けている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			利用相談があれば、ご本人に会いに行き、その方の現在の状況の把握に努め、ご本人の意向や気持ちの理解に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用相談の時に、ご本人やご家族の困っている状況を伺い、把握して不安が解消されるよう努めている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用相談時にご本人、ご家族のお話を伺い、把握した上で最善の方法を考え、他事業所の紹介等を行っている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者と共に過ごして、一緒に畑の手入れ等をしている。まだまだ入居者の役割が少ないように感じる。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご家族と連絡を取り、関係を深め、事業所に足を運んでもらい、共にご本人を支えていけるよう努めている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>島内のなじみの店での買い物や、島内を巡りながら井戸端会議に混ぜてもらったりして馴染みの関係の維持に努めている</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>島外から入居される方が多く、交通の便のこともあり、これまでの関係を続けることはむづかしい面もあるが、ご家族と一緒にフェリーに乗って、これまで利用していた美容室を利用している方もいる。</p>	<p>利用者との日々のかかわりの中から聞こえてくる、ご本人にとっての懐かしい場所や馴染みの人について、職員で情報を出し合い、関係継続に向けて事業所のかかわり方等を考えてみる機会とされてはどうか。</p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) お互いの関係の把握に努め、その都度状況に応じて職員が支援している。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) サービス利用が終了する際は、これからの生活について一緒に考え、その後も相談に乗っている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) ご本人の希望や意向を伺いながら、できる限り応えている。対応が困難な時はご本人と話し合いできる限り意向に沿えるよう努めている。また、声に出せない声の把握ができるよう職員同士の情報の共有に努めている。 (外部評価) 島中をドライブの時には、利用者がガイドをしてくれたり、お若いころの思い出等を話して下さることもある。学習療法をされることもあり、利用者からの発言を留め、思いや意向の把握に努めておられる。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 利用前の面談の時に情報収集をしている。利用後はご本人との関わりの中で把握に努めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 利用者の生活リズムを把握し、各職員での情報の共有に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) 本人、家族の意向を確認し、主治医にご本人の健康状態を伝え、アドバイスを頂き、職員内のサービス担当者会議にて検討し、介護計画を作成している。3ヶ月に1回見直しを行っている。</p> <p>(外部評価) 管理者は、利用者やご家族の希望を聞き取り、介護計画を作成されている。計画書をご家族に送付する際には、意見を出しやすいように、ご本人の日頃の様子を書いた手紙を添えておられる。計画は3ヶ月ごとに見直されている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価) 介護経過記録及び日誌、引継ぎ等にて情報を共有している。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) ご本人や家族等の希望にはできる限り応えるようにしている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価) ボランティア、小学校、幼稚園の慰問や民生委員などの協力を得ている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 島内の診療所に定期受診(1/2W、1/4W)、臨時受診を 行い連携をとっている。入居者さんの状態によっては 往診をしてもらう事もある。	
			(外部評価) 島の診療所がかかりつけ医となっており、管理者が受 診時に同行されている。島外の眼科や歯科等の受診に 出かける際には、ご家族と相談の上で、どちらかが同 行することになっている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 当グループホームの担当看護師の定期訪問を受けてい る。また診療所の看護師さんにも相談に乗ってもらい ながら、各入居者さんの健康管理が行えている。	
			(外部評価)	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 利用者が入院した時は医療機関に適切な情報提供を 行っている。また、適宜の訪問、連絡をすることで情 報交換を行っている。入退院時以外での定期的な連絡 は取れていない。	
			(外部評価)	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 今まで該当者がおらず十分な話し合い、取り組みはでき ていないが重度化した場合の指針については整備し、 家族への説明は行っている。	重度化した場合や急変時の対応等、ご家族の不安や心 配事を聞き取るような機会を作っていかれてはどうか。 又、終末期のあり方についてのご本人の希望 や意向等も確認して、事業所でできることを十分に説 明しながら、体制作りや支援に取り組んでいかれてほ しい。
			(外部評価) ご家族に看取りの指針を示し、説明をされているが、 今のところは事業所での看取り支援を希望される方は おられない。利用者の希望についてはこれからである が、今後、希望があった場合には、診療所との連携や 看護職員の配置等、体制作りの検討が必要のようであ る。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	
			研修は受けているが定期的な訓練は受けることができていない。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	
			緊急事態には、マニュアルを作成しており、地元の消防団の協力を得られるようにしている。また、緊急連絡網を作成している。	
			(外部評価)	
			避難訓練を行っておられるが、夜間を想定した訓練等は、今後の取り組みとなっている。夜間時は、緊急連絡網により、まず地元の職員が駆けつけるようになっている。自治会や消防団にも協力が得られようにお話をされている。	立地条件等も踏まえ、夜間時を想定した避難訓練の実施や避難場所の確認、地域の方達とも協力し合って訓練を行う等、いろいろな場面を想定した訓練を重ねていかれてほしい。利用者、職員全員が安全を確保できるよう、備えておかれてほしい。
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	
			個人情報の取り扱いについては職員に周知できている。	
			(外部評価)	
			職員は地元の方が多く、利用者個々の個人情報の扱いには注意されている。浴室とトイレの入り口は、以前はカーテンでの仕切りであったが、扉を取り付け、利用者の使用時のプライバシーが守られていた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	
			生活の中の関わりを通して、入居者の自己決定を促すよう支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)	1日の生活の基本的な流れはあるが、入居者の希望や状況に合わせてできる限り対応している。
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価)	ご家族とも相談しながら、ご本人の嗜好にあわせた身だしなみができるよう支援している。
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価)	通常の食事は職員が作っている。畑で収穫があった際に、塩もみや、酢漬けなどの副菜を作って頂くときもある。また、2ヶ月に1回、ボランティアで栄養士の方が2名来られて、料理教室を行っている。
			(外部評価)	
				「食事を楽しむ」という点から事業所の食事支援について工夫できる点はないか、この機会に話し合われてみてはどうだろうか。利用者の意欲や自信につなげるような支援等も期待される。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価)	個々の希望や、状態に合わせた食事の提供に努めている。水分摂取においても個々の好み、状態に合わせて提供している。
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価)	食後の口腔ケアの実施で誤嚥の予防に努めている。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	入居者の日々の排泄状況を把握し、その方にあった支援ができるよう努めている。	
			(外部評価)		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	水分摂取量の把握に努め、便秘時は下剤にて対応している。	
			(外部評価)		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	入居者一人一人の意向は確認しているが、時間帯は設定させてもらっている。	
			(外部評価)		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	入居者の状況に合わせ、畳等を準備している。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の作用、副作用、用法、用量について変更がある時は職員に伝えている。個人個人の処方箋を確認している。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) まだまだ入居者の方の役割が少ないように感じる。気晴らしに定期受診の際等に島内巡りをしている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 島外へ行くことは困難だが、島内の親戚の家や昔住んでいた所、畑等を見に行っている。	
			(外部評価) 月に2～3回、島一周のドライブに出かけたり、天気がよい日は散歩に誘っておられる。	利用者一人ひとりの行きたい場所や懐かしい場所に出かけてみるような取り組みをすすめてみてはどうか。ご家族や地域の方達の協力をいただきながら、利用者の暮らしが広がるよう、事業所でも支援していかれてほしい。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) ご本人の状況や希望に応じて、自分で管理してもらっている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望に応じて、手紙や電話のやりとりの支援をしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>居間から見易い所に（テラス）花を飾っている。窓から対岸の景色が見えるようテラス前の木の手入れをしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居間からテラス越しに海や対岸の景色を眺められる。テラスには幼稚園から頂いたプランターの花が並んでいた。又、テラスに屋根が付いたことで、いつでもソファに座って海を眺めることができるようになった。テラスの周りには島の花「アンデスの乙女」がもうすぐ咲くようであった。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>テラスに長椅子置き、ゆっくり過ごせるよう工夫している。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>できる限りご本人の使い慣れた物を持って来てもらっている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居室の窓からは、海やみかん山が眺められる。居室には、洗面台・ベッド・タンス・床頭台・椅子が備え付けられており、畳に布団を敷いておられる方もある。利用者やご家族の写真を飾られたり、ラジオや時計も持ち込まれていた。「できることは自分でしたい」とご自分の洗濯物をお部屋に干しておられる方もうかがえた。</p>	<p>日中、居室で過ごす方が多いこともあり、個々がご本人らしく過ごすことができるような居室の環境作りをすすめてはどうだろうか。以前はどのようなお部屋で過ごされていたのか探してみる等、利用者の年代や個性等にも配慮して、工夫できることはないかこの機会に話し合ってみてほしい。</p>
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>一人一人に合わせて、できる事は自分でできるよう工夫している。自分の部屋で洗濯物を干したい方の為に部屋に衣類掛けを設置する等。</p>	